

競輪補助事業完了のお知らせ

このたび公益財団法人 JKA から令和 5 年度競輪補助金の交付を受けて、下記の事業を完了致しました。

1. 事業の概要

(1) 事業の目的

当施設では、生活介護事業等を運営しております。ご利用者の多くは重度の障がいを抱え、車椅子を利用されているため、施設へ通所するためには車での送迎が不可欠です。

故障箇所が多い 1 台を、車検を機に廃車予定にしていたため、新車導入が必要な状況でした。

福祉車両の整備を行うことにより、車両故障でご利用者にご明確をおかけすることなく、安心して通所していただくことが可能になります。また、送迎・支援の両方にあたっている職員の負担軽減を図ることができます。

どんなに障がいが重くても、ご利用者が一人の社会人として楽しみながら生活できる居場所となる施設として、これからも地域福祉に貢献していきます。

(2) 実施内容

移送車3 車いす仕様（リフト式） 1台 （日産 キャラバン）



<車両側面>



<リフト部分>



<実際にリフトを利用する様子>

車いすを利用しているご利用者 4 名（車いすの大きさによっては 3 名）の送迎等に活躍しています。ご利用者、ご家族からの喜びの声もいただいております。

2. 予想される事業実施効果

重度の障がいを抱えるご利用者が通所するためには、送迎車での送迎が欠かせません。1 台でも稼働できない車両が出ると、職員は故障対応と送迎ルート作成に苦慮します。新車両導入で、職員はその対応に時間をとられることが少なくなります。効率の良い送迎ができるようになることで、ご利用者、ご家族が安心して通所していただける環境を整えることができます。

また、レスパイトやニード別等の外出行事の活用も考えられます。

3. 補助事業に係る成果物

以下の媒体より、補助事業について報告いたしました。

●えのき会ホームページ <http://sakuraenoki.org/>

●福祉新聞広告 2023年10月10日号



●法人広報誌「煌」38号 2023年9月27日発行

http://sakuraenoki.org/wp-content/uploads/2023/09/r38_1-8a.pdf

～ 令和5年度の出發です ～

えのき会

理事長・理事の改選がありました

氏名	役職	プロフィール
伊藤 啓子	理事長	1958年10月生まれ、東京都出身。1980年、えのき会に入会。2018年、理事長に就任。
木村 公彦	理事	1955年11月生まれ、東京都出身。1980年、えのき会に入会。2018年、理事に就任。
若原 美穂	理事	1975年12月生まれ、東京都出身。1995年、えのき会に入会。2018年、理事に就任。
山口 芳枝	理事	1960年1月生まれ、東京都出身。1985年、えのき会に入会。2018年、理事に就任。
若原 裕一	理事	1970年2月生まれ、東京都出身。1990年、えのき会に入会。2018年、理事に就任。
木村 タロ	理事	1965年3月生まれ、東京都出身。1985年、えのき会に入会。2018年、理事に就任。

公益財団法人JKAの競輪補助事業「競輪とオートレースの補助事業」により、福祉車両を導入することができました。

ありがとうございます

【おもしろい・面白いネタがいっぱい】

●事業所広報誌「オリオンだより」2023年10月号

オリオンだより

10月の予定

日(曜日)	予定の行事
21(月)	月初めの会
3(火)	血圧・体温測定週間
7(土)	薬光まつり(販売)
25(水)	納付日
27(金)	14周年祭り
28(土)	オリオンまつり
30(月)	オリオンまつり代休

☆送迎車が新しくなりました☆

9月7日、オリオンハウスに新しい送迎車としてキャラバンが納車されました。こちらの納車は「競輪とオートレースの補助事業」により、公益財団法人JKA様より納車を頂きました。スタッフがかっこよく、インスタ映えますね(´▽`)♪乗降の手間も減る送迎車で、毎日の送迎もスムーズにこなせること間違いありません。ぜひご利用ください。

そして、1日に付添員自費を行いました。付添員のためのアンケートを頂いた方から「付添員自費」の項目があり、心付けで送迎車のメンテナンスを依頼しました。乗り心地を良くするためのメンテナンスもぜひ行ってほしいです。

ここに事業完了のご報告を申し上げますと共に、公益財団法人JKAをはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。